

これまで以上に「ありがとう」が
聞こえるまち、住之江区の実現に向けて

令和5年度運営方針を策定しました

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に
夢と希望を持って地域など、周りの人々と幸せに暮らすことができるまちをめざします。
これまで以上に「ありがとう」が聞こえるまち、住之江区をめざします。



住之江区長 末村祐子



子どもたちが笑顔で育つ環境の実現

■支援が必要な児童・生徒への取組

- こどもサポートネット事業(1,666万円)
小・中学校等と連携し、支援が必要な児童・生徒や保護者の悩みを傾聴のうえ、利用可能な支援を提案し、児童・生徒や保護者のニーズに合わせて利用に向けたサポートを行います。



■全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

- 2歳児子育てケアプラン作成事業(区1,032万円)
2歳の子どもがいるご家庭に子育てアンケートとあわせて、利用できるサービス・情報をお送りします。相談を希望される方には、ご家庭へ訪問します。



■相談機能、情報発信の強化と交流の場の充実

- 地域担当保健師や子育て支援室の相談員による相談
- 子ども・子育てプラザをはじめとした親子が交流する場の提供
- 子育てマップや子育て情報紙「わいわい」の発行(区26万円)

子どもたちの「生き抜く力」の育成

■児童・生徒の学力向上に向けた取組

- 中学生の英検受験支援(区308万円)
- 大阪市習い事・塾代助成事業を活用した民間の塾事業者との連携による課外授業の実施(区43万円)
- 放課後学習チャレンジ教室事業(区567万円)
こどもサポートネット事業の対象となる児童などに、学習習慣の定着や学習意欲の向上を図ります。

■チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

- すみのえ未来塾事業(365万円)
チャレンジ精神や探求心、判断力やコミュニケーション力等の未来に向かって挑戦する力を育むためのワークショップ等を通して、子どもたちがこれからの社会を「生き抜く力」を身につける機会を創出します。



地域の活力と魅力の向上

■多様な主体による地域の活気と魅力づくり

- 地域活動支援事業(区5,942万円)
地域活動協議会をはじめとした、様々な団体や企業、NPO、個人が中心となって地域の課題解決ができるように、まちづくりセンターを通して地域活動をサポートするなど、地域コミュニティの活性化を図ります。



■地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

- まちづくりセンターと連携し、地域の実情に応じて、地域活動協議会の自律運営に向けた支援
- 地域活動協議会の意義や求められる役割について理解を深めるための積極的な情報発信

■地域の魅力の共有と発信

- すみのえ情報局の運用(区459万円)
区内の方に住之江区を知ってもらうことを目的として、ポータルサイト「すみのえ情報局」を運営し活用して、区内の関連団体等の情報発信を支援します。
また、ポータルサイトの閲覧・活用を促進するため、スマホの使い方を習得するための支援を行います。



支え見守りあう地域づくり

■安心を提供する福祉施策の推進

- 福祉・健康・医療・暮らしの支援などの各種公的制度のほか、地域・NPO等が実施する支援の情報共有による相談対応力の向上

■地域福祉の充実

- 見守りあったかネット事業(区1,249万円)
各地域や企業、学校等において、高齢者、障がい者、児童などに対する地域の見守り活動の担い手である「見守りあったかネットサポーター」を養成します。
- ふだんのくらししあわせプラン(地域福祉計画)の作成
各地域の実態を踏まえた「ふだんのくらししあわせプラン」を地域活動協議会等と連携して作成し、地域福祉の取組への参画を促進するための啓発を行います。



災害に負けないまちづくり

■自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

- 防災力の向上(区1,478万円)

町会や自主防災組織をはじめ、学校や民間企業等の幅広いコミュニティ層に対して、研修や出前講座などの機会を捉え、ICTを活用した防災人材育成プログラムを提供します。



ハザードマップや避難カードの活用方法について啓発し、自ら作成した後、近所や地域の方へ避難カードやマイタイムラインの作成を促すような「近助」の防災力が向上する取組を行います。



■減災のための環境整備

- 避難所の備蓄物資の充実など

避難所の備蓄物資の充実や津波避難ビルの表示板の増設、災害時避難所の表示板及び誘導表示板の変更を行います。
災害に備え、津波避難ビルや防災パートナーを拡充し、避難場所や備蓄物資等を充実させるため、ご協力いただける企業の発掘に取り組みます。
また、個別避難計画作成支援や中学校防災授業など、地域と連携した持続可能な仕組みづくりを行います。

犯罪のない安心して暮らせる環境の実現

■防犯意識の向上に向けた啓発

- 特殊詐欺被害防止キャンペーンや防犯出前講座の実施
- 特殊詐欺被害防止録音機の貸与

■街頭犯罪抑止のための環境整備

- 青色防犯パトロールカーなどによる巡回パトロールや街頭犯罪防止のための防犯カメラの適正箇所への配置確認など(区120万円)



施策推進のために

住之江区将来ビジョンでは、各施策を支える手法を掲げています。

ICTを活用した地域力の強化

・ICTの活用

大阪市行政オンラインシステムを使った来庁時にお持ちいただくもののご案内や来庁前の予約など、区民のみなさまの利便性の向上に向けてICTを活用します。

・すみのえ情報局

地域が情報を発信できるサイト「すみのえ情報局」は、団体のみなさまの投稿あつてのサイトです。地域活動・社会貢献活動を情報発信できる環境を整えます。



官民連携の一層の強化

・企業・NPO・学校・地域交流会

多様な団体が持つ独自の力を活力ある地域づくりに活かせるよう、企業、NPO等との連携に一層取り組みます。

・教育機関との連携

教育機関との連携を深めながら、先駆的な取組を進めます。

より身近な区行政の実現

区民の視点に立った区行政の展開とサービスの提供を実現するために、主に下記の取組を実施します。

- ・区民アンケートの実施
- ・区政会議の開催
- ・区の広報・広聴事業
- ・職員の人材育成 など

運営方針とは

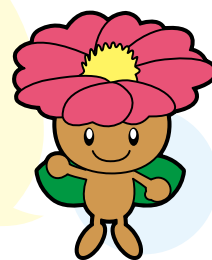
企業活動などで使われる「戦略計画」(経営戦略)の考え方を行政に取り入れたもので、成果を常に意識して取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげるPDCAサイクルの徹底を狙いとして作成しています。また、運営方針は住之江区将来ビジョンの単年度ごとの具体的取組でもあります。
区政会議の3つの部会や全体会で活発な意見交換をしていただき、地域活動協議会へご報告しながら、区政会議でのご意見を踏まえて策定しました。

住之江区ではSDGsの理念に賛同し、区民のみなさまとSDGsの達成をめざします。

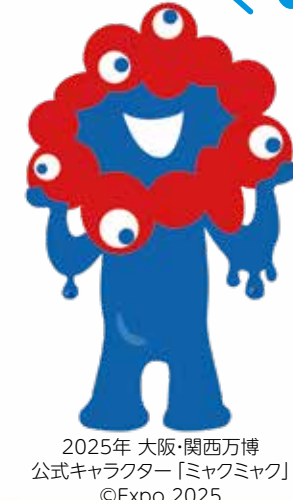


SDGsと私たち

SDGsとは、2015年の国連サミットで採択された2030年までに達成するために掲げた、17のゴール・169のターゲットから構成された国際目標です。
SDGs達成のためには、私たち一人ひとりが「じぶんごと」として考え、行動することが大切！
区民のみなさまにとってのSDGsが、住之江区のめざすSDGsです。ぜひ、簡単なことから始めてみてください。



いっしょに、いこな! 大阪・関西万博



大阪・関西万博が開催される2025年は、SDGsの目標年である2030年の5年前であり、SDGsの達成に向けたこれまでの進捗状況を確認し、その達成に向けた取組を加速させる絶好の機会になるといわれています。

住之江区役所では、区民のみなさんにSDGsを「わがごと」として認識し、日常の暮らしのなかで実践していただくために様々な取組を実施しています。

みんなでやろうよ! 万博共創チャレンジ



共創チャレンジとは、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、ワクワクしながら進める活動のこと。見るだけじゃない、あなたが主人公になる万博がはじまります。

住之江区の共創チャレンジはこちら

